



小径NSエコパイル工法の土木分野での適用拡大について

日鉄建材株式会社（代表取締役社長 美濃部 慎次）及び日本製鉄株式会社（代表取締役社長 橋本 英二）は、「小径NSエコパイル工法」の建設技術審査証明を、（一財）国土技術研究センターにて更新し、土木分野での適用範囲を拡大しました。

NSエコパイル工法（回転圧入鋼管杭）は、2000年の発売開始以来、「無排土、低騒音、低振動」の特長を活かし数多くの現場で採用されています。特に「小径NSエコパイル工法」では、コンパクトな重機を使用するため、狭小地、近接施工、上空制限等の制約のある現場での施工が可能です。これまで土木分野でも累計1000件以上の現場で採用されています。

今回の建設技術審査証明の更新による「小径NSエコパイル工法」の土木分野での適用拡大は以下の通りです。

- i) 従来のH24道路橋示方書に準拠（許容応力度設計法）した構造物に加え、H29道路橋示方書に準拠（部分係数設計法）した構造物へも適用が可能。
- ii) 杭径の上限はφ406.4からφ609.6に拡大。

今回の土木分野での適用拡大により、環境に配慮した「小径NSエコパイル工法」の更なる普及に努めて参ります。



＜小径土木エコパイルの主な適用分野（実績）＞

排水機場・ポンプ場 浄水場・配水池
水管橋 鉄塔 水門・水路 擁壁 歩道橋 等



〔本件に関するお問合せ先〕

日鉄建材株式会社 土木商品部 エコパイル商品営業室
 TEL : 03-6625-6310 FAX : 03-6625-6311
 NSエコパイル工法協会
 MAIL : nsmp@ns-ecopile.com, TEL : 03-6625-6320